

令和4年9月後半定例会 一般質問（概要）

令和4年12月15日（木）

質問者：岩木 均 議員



旧演壇登壇

（岩木均議員）

大阪維新の会、大阪府議会議員団の 岩木均 です。

通告に従い、順次質問させていただきます。

1. 『難波宮』について

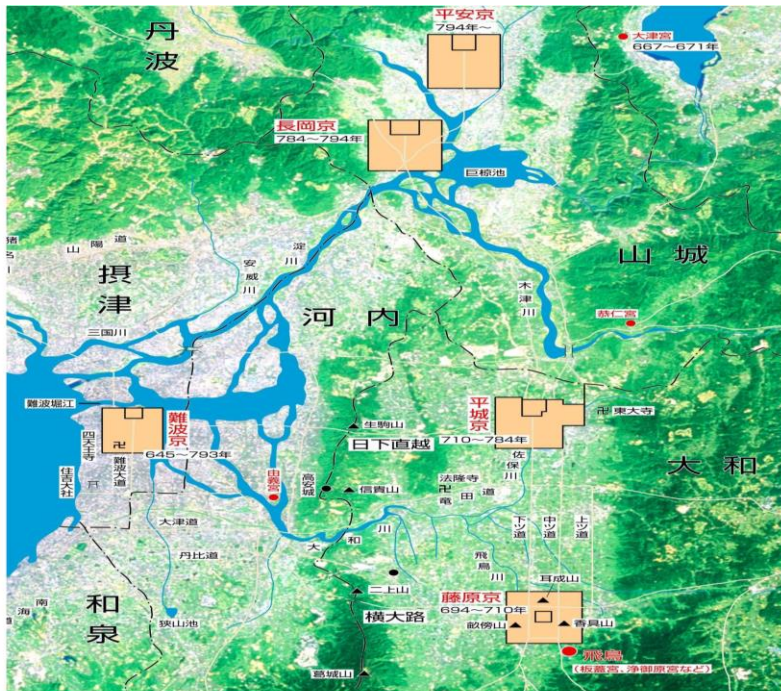
①

（岩木均議員・質問）

はじめに、難波宮跡の整備についてお伺いします。

難波宮は、古事記や日本書紀等に登場します。この難波宮から「日本」という国号

及び「天皇」という称号の使用が始まったとする説もあり、日本で初めて「大化」という元号が定められて今日の「令和」へと継承されています。
パネルをご覧ください。

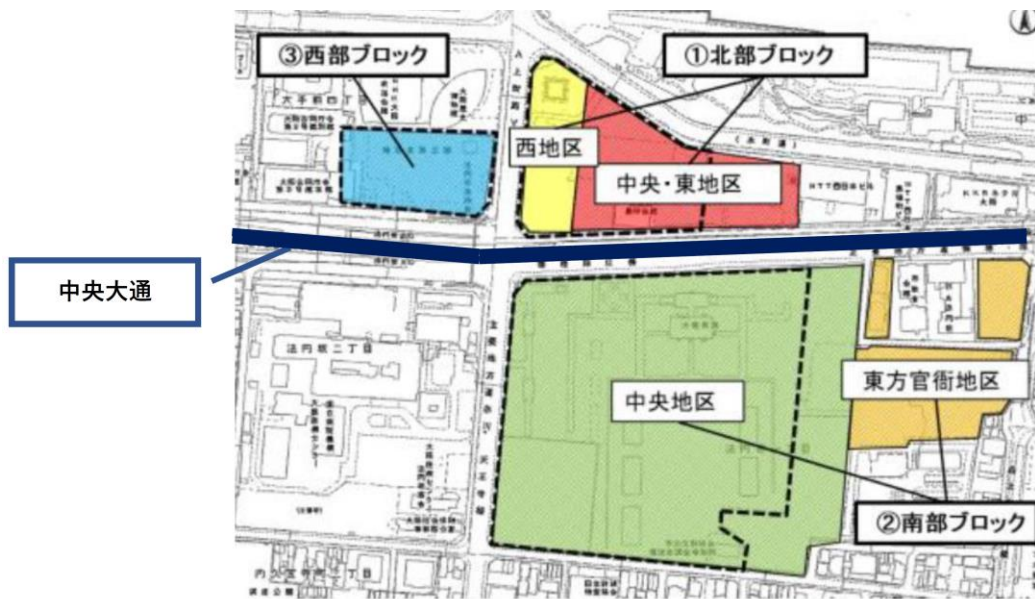


出典：古代の宮都と畿内（大阪歴史博物館提供）

西側が難波宮であり、東側に下から、藤原京、平城京、長岡京、平安京とありまして、ちょうど難波宮の時代が飛鳥時代、平城京の時代が奈良時代、そして平安の時代にうつっていきます。難波宮が当時の首都であり、平城京、平安京にうつっても、副都であったというわけです。

当時、このエリアの周囲は海に面していて港が設けられました。その半島を背景にして淀川、大和川が堆積物を運び支流ができ、大阪平野の原型が形成されました。

政治・文化面も聖徳太子の意向を受けて遣隋使・遣唐使の往来があり、日本の海の玄関口だと想定されています。



出典：「史跡難波宮跡附法円坂遺跡整備基本計画」より抜粋 **2**

この度、その難波宮跡の保全と活用を図りながら、未来へ継承するため、パーク PFI 事業が始まることになりました。



出典：公益財団法人ニッポンドットコム <https://www.nippon.com/ja/guide-to-japan/gu900197/> **3**

また、隣接する NTT 西日本本社跡地と一体的な整備がなされるともお聞きしています。



出典：西日本電信電話株式会社、NTTアーバンソリューションズ株式会社、NTT都市開発株式会社
2021年10月13日ニュースリリース「法円坂北特定街区（NTT西日本本社所在地）における開発計画について」より抜粋

4

この付近では現在、地上 20 階、地下 3 階からなるホテルの建設が予定されています。このホテルは、国際会議やパーティーに利用できる多目的ホールその他、高層階には大阪城や、敷地西側に広がる難波宮跡を眺望できるレストランなどの機能が計画されており、大阪・関西万博が開催される 2025 年春に開業予定となっております。

私にとっては、感慨ひとしおであります。今から 10 年前、平成 24 年 3 月、10 月と 2 度にわたり委員会質問にて「府農林会館」の件を取り上げました。



5

平成 22 年に閉館した「府農林会館」は撤去のめどが立たないまま廃墟と化しつつ

ありました。大阪城の南側の広い空き地の中でポツンと地上6階地下1階のビルがそびえていました。その前を車からまたは、歩いてみると廃墟ビルが異様な光景で、当時の橋下徹知事は「大阪の凋落の象徴」と不満を漏らしていたのを覚えています。

最終的には、農林金融機関「府信用農業協同組合連合会」に対して、大阪府は買い取りを求め、府議会の議決を得て、大阪簡易裁判所に調停の申し立てを行い、8回にわたる調停の場で裁判所が最終調停案を提示し、解決したことを記憶しています。

あの当時のことを思えば、隔世の感があり、これからの大阪城周辺、難波宮に大阪の未来に希望の光が見えてくるようです。素晴らしい大阪の拠点にと期待を膨らませています。

私の地元平野は、この難波宮と関連があります。地下鉄の谷町線の駅で「喜連瓜破」など聞かれると思います。この難解な地名は、難波宮がおかれていたとき、人や物資が大陸と往来する中、平野にも居住を構えたりしていたからだと推察しています。

そのため、難波宮跡整備が動き出すことに大いに期待しております。そこで、これからの取り組みについてお伺いします。

難波宮跡公園については、本年2月に、民活で公園の整備・管理運営を行う事業者を公募し、学識経験者で構成した選定会議による審査を経て、8月に事業者が決定したと聞いており、着実に取組を進めてもらいたいと思っています。

また、難波宮跡公園に隣接する大阪城公園は、国の特別史跡であり、観光客の人気スポットにもなっています。そのため、難波宮跡公園の整備にあたっては、大阪城公園との連携が不可欠だと考えます。そこで、現在の取組状況と今後の予定について、都市整備部長にお伺いします。

降壇

(都市整備部長答弁)

○ 難波宮跡公園については、広域的な集客観光の拠点となることをめざし、府市協調のもと、隣接する大阪城公園と一体化した歴史公園としての整備を進めている。

○ 本年8月に決定した事業者からは、大阪城公園と連続したみどりの景観づくりや、そのみどりを活かしたカフェの設置、周辺施設を含めた情報発信やイベントの実施な

どの提案があった。

○ 現在、府市において、事業者と提案の具体化に向けた調整を進めており、令和5年度中に工事に着手する予定となっている。

○ 引き続き、大阪・関西万博までの完成をめざし、大阪市とともにしっかりと取り組んでいく。

新演壇登壇

②

(岩木均議員・質問)

次に、観光PR、人々への周知についてお伺いします。

マーライオンと言えば、すぐにシンガポールのことが思い描かれます。マーライオンは、観光パンフレットの表紙などにもなっております。

難波宮跡においても、ここにしかない目玉をつくりなどして、PRすべきであります。難波宮跡の認知度を上げて、観光客へのコミュニケーションなど大阪のにぎわいづくりにつながるからです。ぜひ、府市が連携して難波宮跡を国内外に売り出していっていただきたいと思えます。

現在、全国旅行支援の効果もあり、大阪を含め日本各地の観光は活気を取り戻しつつあると感じています。2025年に開催される大阪・関西万博では、観光需要がコロナ禍前の水準を上回り、国内外から多くの方が訪れることが期待されます。この機会を利用して、東京のはとバスツアーのような大阪の観光資源を楽しめる周遊コースや周遊ツアーを大阪観光局とも連携して企画・造成していくべきではないかと考えます。とりわけ難波宮跡は、我が国初の本格的な宮殿遺跡として、学術的・歴史的にも重要な遺跡であるとともに、観光客の多く集まる大阪城公園や、難波宮遺跡に関する展示のある大阪歴史博物館にも隣接しており、観光資源としてのポテンシャルも高いと考えます。

については、大阪観光局との連携をはじめ、関係者とも協力して、難波宮跡やその周辺の観光資源を巻き込んだ魅力発信や周遊促進に取り組んでいくべきと考えますが、府民文化部長にご所見を伺います。



降壇

(府民文化部長答弁)

○ 難波宮跡は歴史的な価値が高く、その周辺には、全国有数の観光スポットである大阪城公園が隣接するなど、多くの観光客を惹きつけることのできる魅力的な観光エリアであると認識。

○ そのため、歴史をテーマに、難波宮跡をはじめ森之宮遺跡、大阪歴史博物館等の古代大阪を巡るモデルコースを大阪観光局と連携して造成するなど、難波宮跡とその周辺エリアを一体的に捉えた周遊の促進を図っているところ。

○ また、難波宮跡公園の整備・管理運営を行う事業者が実施する、周辺施設を含めた情報発信やイベント等も活用しながら、このエリアが持つ歴史的価値や観光資源としての魅力をより効果的に発信していく。

○ 大阪・関西万博も見据え、引き続き、大阪観光局や府市関係部局等とも連携・協力し、難波宮跡やその周辺エリアの雄大な歴史など、その魅力を多くの方に知っていただき、訪れていただけるよう、しっかりと取り組んでまいります。

新演壇登壇

(岩木均議員・要望)

大阪観光局との連携を強化して、難波宮跡をはじめ、大阪みどりツアー等、旅行者との連携企画をするべきと考えます。ぜひ、官民連携して盛り上げていていただくようお願いいたします。

③

(岩木均議員・質問)

難波宮跡の北部ブロックは、これから整備が始まりますが、南部ブロックに行くと、宮殿の建物の土台である基壇があるだけです。この台形の造形物が基壇であるとの説明を聞かないと誰もわかりません。



6
出典：大阪市教育委員会より提供

これは難波宮の当時を復元したCG画像です。これを見ればイメージが湧くと思いますが、今は殺風景な状況で、ここが日本の首都だったという面影は感じられません。

そこで今回の整備を契機として様々な工夫をしていくべきです。

府民の力を借りて、ボランティアガイドによる難波宮跡ガイドをしてはどうでしょうか、教育長にお伺いします。

降壇

(教育長答弁)

- しせきなにわのみやあとつけたりほうえんざかいせき
- 史跡難波宮跡附法円坂遺跡については、大阪市が管理団体として管理運営を行っており、本年8月、大阪市により今後の難波宮跡の整備及び管理運営を担う Park-PFI 事業者が決定されたところ。
 - 事業者の提案として、市民主体の組織「難波宮サポーターズクラブ」を組織し、公園管理者と市民の連携強化を図るとされており、具体的な事業例として歴史ガイドツアー等の実施が示されている。
 - 現在、大阪市と事業者の間で具体的な事業計画についての調整が進められており、大阪府教育庁として、公民連携の先行事例について情報提供等を行うなど、事業実現に向けて支援してまいります。

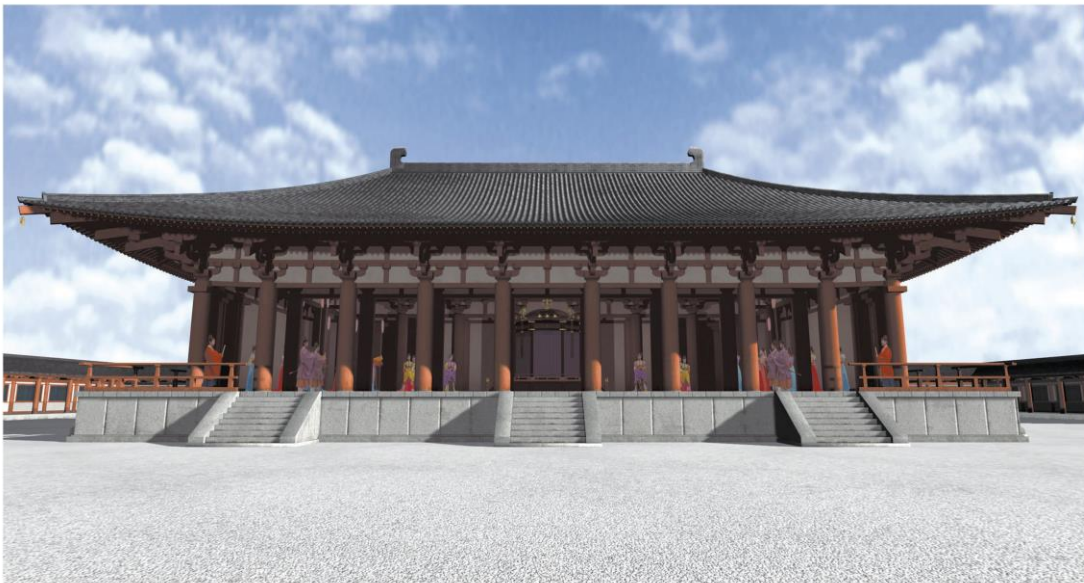
新演壇登壇

④

(岩木均議員・質問)

史跡公園には基壇という土台がすでにあります。この既存の土台を活用して、ここで天皇が国を動かしていたというイメージが湧いてくるようにすべきと考えます。

パネルをご覧ください。



出典：大阪歴史博物館より提供

7

これは、難波宮大極殿の復元 CG です。

国に働きかけた上で、奈良の平城宮跡のように基壇上にかつての難波宮の建物を復元してはどうかと考えますが、教育長にお伺いします。

降壇

(教育長答弁)

○ 史跡指定地で建物の復元を行う場合、事前に文化庁の許可を得ることが必要となる。歴史的建築物の復元に関しては、文化庁が基準を定めており、十分な学術的根拠をもち、高い蓋然性をもつ復元案を策定すること等が求められる。また、平城宮跡の事例によれば、実施にあたっては多大な経費が必要となると想定される。

○ 難波宮跡の整備、活用については、令和3年12月、北部ブロックの遺構表示の手法など、具体的な内容を定めた「史跡難波宮跡附法円坂遺跡整備基本計画」を大阪府・大阪市連名でとりまとめたところ。

○ 当該整備基本計画においては、難波宮跡の建物の復元について、2025年から25年程度をかけて検討していくこととしている。

新演壇登壇

⑤

(岩木均議員・質問)

ただ今、難波宮の復元についてご説明いただきました。

難波宮の復元にあたっては、材料も当時と同様なものが原則的に望ましいですが、同時代の建築物が主に木材にて建造されたことは、発掘調査成果や文献等からも推測されるところです。

このため、復元には多くの木材が利用されることになると思いますが、当時は現在のような道路も整備されておらず、運搬手段がなかったことから、宮殿には大阪周辺の木材が使用されていたのではないかと考えられます。

そこで、宮殿の復元が具体的になった場合、是非とも大阪周辺の木材を使うべきだと考えますが、このことについて木材利用の促進を所管する環境農林水産部長のご所

見をお伺いします。

降壇

(環境農林水産部長答弁)

○ 宮殿の復元にあたっては、文化庁が基準を定めており、十分な学術的根拠をもち、高い蓋然性をもつ復元案を策定すること等が求められているとのことであり、発掘調査成果や文献等に基づき、できる限り当時のように木材が利用されることとなれば、木材利用促進の観点からも望ましいと認識。

○ 復元計画が具体的になった場合は、様々な種類・規格の木材を大量かつ適正に調達する必要があると考えられることから、国や近隣府県、木材関係団体との連携や情報収集に努め、適切な木材利用ができるように協力していく。

新演壇登壇

⑥

(岩木均議員・質問)

映画やテレビのロケーションなど美しい景観となるように、しっかりと整備をすすめてほしいと考えております。よろしく願いいたします。

次に、大阪・関西万博のインパクトを活かし、東西二極の一極を担う「副首都・大阪」として、さらに成長・発展させていくためのグランドデザインについて伺います。

12月末に策定が予定されている「大阪のまちづくりグランドデザイン(案)」では、大阪が持つ強みや多様なストック・ポテンシャルを活用していくことや、人中心の快適で魅力ある空間の創出、難波宮跡をはじめとした歴史・文化・景観等の多様な地域資源の活用などがうたわれています。

また、ウォークアブルなまちづくり、自転車通行空間や利用環境の整備、広域連携や水上交通にも言及されております。

そうした中、IRの誘致や2025年大阪・関西万博の開催などは、大阪の知名度や発信力を高める絶好の機会であり、グランドデザインの情報をもっと発信すべきと

考えます。その際には、難波宮跡など古代の大阪が、古くから都であったことは、品格や格式にもつながります。

今後、推進に向けて難波宮跡も含めグランドデザインをどのように発信していくのか、大阪都市計画局長にお伺いします。

降壇

(都市計画局長答弁)

○ 「大阪のまちづくりグランドデザイン(案)」は、2050年に向けた大阪全体のまちづくりの方向性を示すものであり、その推進に向けては、民間事業者をはじめ、多様な主体がグランドデザインを共有し、まちづくりに参画することが重要と認識している。

○ このため、策定後においては、グランドデザインで示す将来像やまちづくりの戦略、議員お示しの難波宮跡をはじめとした多様な地域資源を活かした取組等を、国内外に幅広く発信していく必要があると考えている。

○ 引き続き、2025年大阪・関西万博はもとより、様々な機会を捉え、プロモーションの実施など効果的な情報発信の方策について、検討していく。

新演壇登壇

(岩木均議員・要望)

古代、大阪は現代の日本の政治・経済・文化・学問・音楽などの基礎を形成した国際交流を中心とした首都であり、副首都であったことはまぎれもない事実です。

この大阪の誇れる歴史と伝統、当時の面影を是非、国内外の人々にアピールして頂けるようお願いいたします。

2. グリーンパワー『パークビジョン』について

(岩木均議員・質問)

①

次に、グリーンパワーパークビジョンについてお伺いします。私はこれまで本会議場において5回グリーンパワーの質問をさせて頂きました。私にとってグリーンパワ

ーとは、緑をはじめとする水、土、風、光など自然環境そのもののパワーです。コロナ禍の中、人流、すなわち「人々の移動や流れ」が注目され人々の往来で役立つデータ分析の重要ワードになりました。人流の中で公園がキーワードとなっています。公園にはコロナ禍と関係なく、人々が集うからです。

そこで、大阪の広域的な公園の魅力を高めることを目的として、府市連携のもと、昨年12月に「大阪パークビジョン」が取りまとめられました。私は素晴らしい取組であると考えています。しかし、計画は作って終わりではなく、それをどう具現化していくかが重要です。

そのため、今後、ビジョンをもとに、具体的に何をすべきか、どのような取組をするのかなどを示すアクションプランが大事です。

そこで、このパークビジョンをもとに今後、どの様に取り組んでいくのか、都市整備部長にお伺いします。

降壇

(都市整備部長答弁)

○ 大阪パークビジョンでは、今後10年間の具体的な取組を定めたロードマップをアクションプランとしてとりまとめ、その実施のため、府市で設置した「大阪パークビジョン推進会議」において、進捗管理などを行っている。

○ 本年度は、大阪観光局と連携し、府市一括のポータルサイトによる公園の魅力発信や、民間活用等のノウハウを共有する会議の設置等に向けて、他の市町村と調整を進めるなどの取組を実施。

○ 引き続き、大阪パークビジョンに基づき、市町村や経済団体等とも連携を図りながら、公園の魅力向上に向けて、しっかり取り組んでいく。

新演壇登壇

(岩木均議員・要望)

パークビジョンを基に進めていくということはわかりましたが、実際にどう実施して、行動していくのか、ということをもっと明確に、透明化していただくようお願いいたします。

②

(岩木均議員・質問)

大阪市の長居公園を視察してきました。

パネルをご覧ください。



出典：長居わくわくパークプロジェクトチームより提供

8

民間活力が導入され、長居公園をはじめ、大阪城公園や



出典：大阪城パークセンターより提供

9

てんしば



出典：大阪市より提供

10

にも劇的な変化がありました。



出典：「チームラボ ボタニカルガーデン 大阪」長居植物園 ©チームラボ

11

長居公園の植物園では、夜間のライトアップが企画されるなど、昼間だけでなく、夜間も活用されています。

府営公園の管理運営においても、まだ改革の余地があると思います。



出典：一般財団法人公園財団「公園文化WEB」より

12



出典：一般財団法人公園財団「公園文化WEB」より

13



出典：一般財団法人公園財団「公園文化WEB」より

14

アメリカのセントラルパークという公園では、管理財団が新しい仕組みで公園経営を行い、世界に大きな影響を与えました。財団の貢献も大きいですが、財源や権限を大幅に委譲したニューヨーク市の英断も素晴らしいものであったと思います。セントラルパークでは、照明灯や広場整備、建物などの再整備は民間の管理財団が担っています。

そこで、大阪府においても、各公園を統一した金太郎飴のような整備をするのではなく、地域のオリジナルの顔として、個性を発揮すべきだと考えます。

そのため、民間でできるものは民間へとシフトしていく観点から、大規模修繕など再整備は、指定管理者に移行していくべきだと考えますが、都市整備部長のご所見をお伺いします。

降壇

(都市整備部長答弁)

○ 府営公園の維持管理については、これまでも指定管理者制度の中で、民間のノウハウを活かしながら取り組んできた。

○ また、お示しのような大規模修繕については、老朽化した久宝寺緑地プールの再整備にあたって、設計・施工・管理まで一体に行うPFI事業と指定管理者制度を併用

する新たな仕組みを導入することとしており、現在、来年度の公募に向け準備している。

○ 今後とも、積極的に民間活力も活用しながら、公園の適切な管理運営に努めていく。

新演壇登壇

(岩木均議員・質問)

③

服部緑地や大泉緑地も同じような状況ですので、同じように進めていただきますよう要望いたします。

公園は快適な空間づくりを実践できる憩いの場です。都市空間内でのみどり豊かで魅力溢れる公園はコロナ禍において重要なキーワードになると思います。

そこで、セントラルパークや長居公園のように、民間活力をさらに活用して、大阪の発展・成長につながる、世界に誇る公園づくりを進めていくべきと考えますが、知事のご所見をお伺いします。

降壇

(知事答弁)

○ まさに大阪にある公園、これは世界に誇る公園づくり、そして大阪の発展・成長、そして府民のみなさん、市民のみなさんの憩いの場になる、非常に高いポテンシャルをもっているのが、僕は大阪の都市公園だと思っています。

○ 議員ご指摘のセントラルパークは私も視察に行っていました。ご紹介のありました長居公園は大阪市長時代から力を入れて進めている事業でもあります。鶴見緑地公園もそうです。その前は、ご紹介もありましたが、大阪城公園、そしててんしば、そういったものを民間の活力を最大限生かしながら、この間大きく魅力を高めてきたところです。これをぜひ、大阪府の府営公園でもやりたいという思いで、この間、大阪の府・市連携でパークビジョンをつくりました。田中副知事は、僕が市長時代から、橋下さんが市長時代から、一緒に公園について取り組んできた、元副市長であり、今副知事で、この大阪府でもやるということで、府・市一体でこのパークビジョンをつくりました。

○ そして府営公園について様々精査をいたしまして、服部緑地をはじめ4つの公園

で、新たにPMO型の指定管理者制度などが、来年度からまさにスタートいたします。また、久宝寺緑地におきましては、大規模修繕と一緒に管理運営手法の導入をはかるということをやります。まさに、民間活力を活かした取組を進めています。

○ 大阪の公園の魅力をぜひ高めていきたいと思えます。難波宮もまさに同じでございます。引き続き、公園の整備や管理運営に、積極的に民間活力を導入していくことで、公園の魅力を高めて、都市魅力のさらなる向上にしっかり取り組んでいきたいと思えます。

新演壇登壇

(岩木均議員・要望)

大阪は、セントラルパークに匹敵するパークがあり、ニューヨーク市も一目置く世界都市として、資金や優秀な人材も集まってくるようになってほしいと思えます。

3. 阪神高速 14 号松原線（喜連瓜破）大規模更新工事に伴う交通渋滞対策について

①

(岩木均議員・質問)

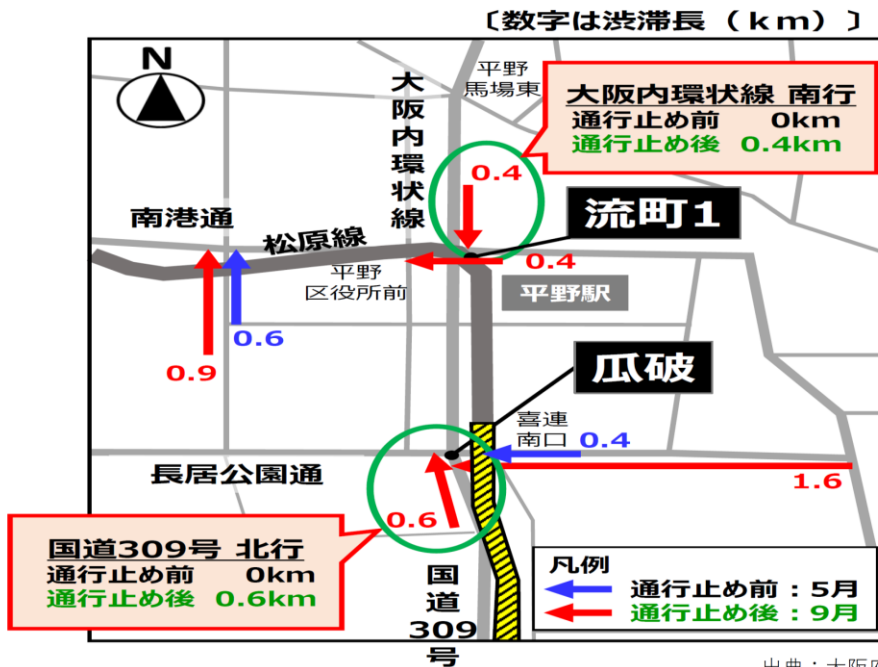
先日、我が会派の山本議員より質問がありましたが、角度を変えて、阪神高速 14 号松原線大規模更新工事に伴う交通渋滞対策について質問を致します。現在、阪神高速道路松原線喜連瓜破橋の架替工事が、本年6月 1 日から約3年間の終日通行止めを行い実施されています。

私の事務所は阪神高速道路松原線の平野出入口付近にあり、この通行止めにより大渋滞が起こるのではないかと心配していましたが、阪神高速道路株式会社をはじめ関係者による広報の効果もあり、私自身、通行止め直後、何度か車を走らせて確認しましたが、心配していた様な大きな渋滞もなく安堵していたところです。

しかしながら、通行止め以降、日が経つにつれて、平野区付近の国道 479 号、通称大阪内環状線などで渋滞が悪化しているように感じています。

パネルをご覧ください。

■ 渋滞長の比較（8時台）

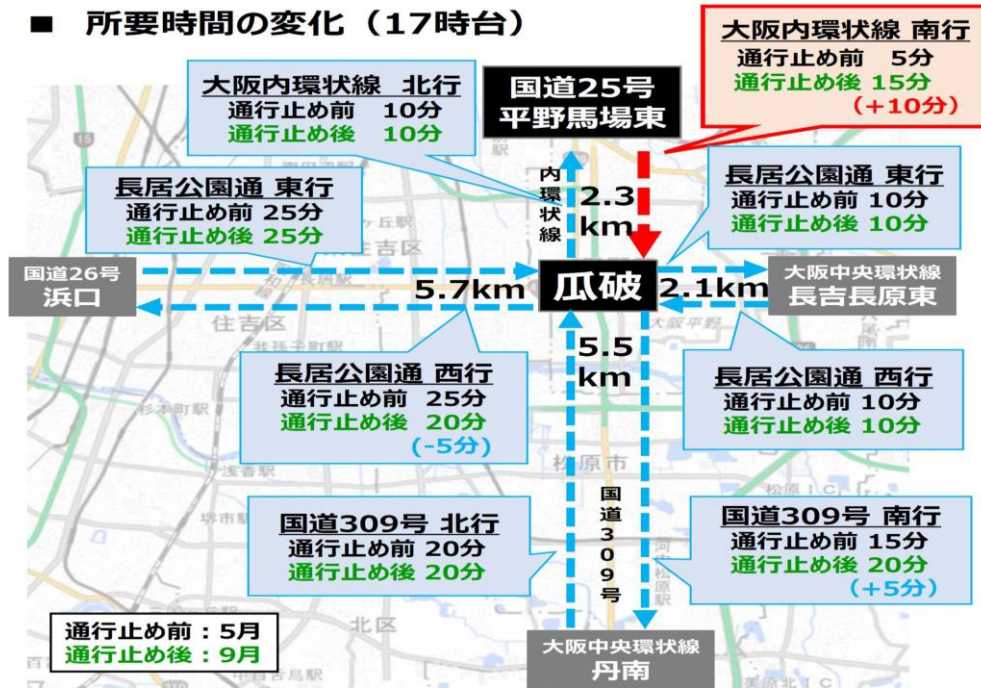


出典：大阪府都市整備部より提供

15

実際の通行止め前後の交通状況を確認したところ、9月時点では、朝8時台の渋滞が、大阪内環状線・流町1丁目交差点を先頭に南行き約400m、国道309号・瓜破交差点を先頭に北行き約600m発生。

■ 所要時間の変化（17時台）



出典：大阪府都市整備部より提供

16

また、夕方17時台の平野馬場東から瓜破交差点までの所要時間は、通行止め前5分であったものが、通行止め後の9月には15分になっているなど、通行止めによる

影響が生じています。パネル右上の赤い線の部分が平野―松原において、もっとも影響を受けたところでありまして、私の事務所の前であります。渋滞は、地域の日常生活や経済活動への影響が大きいことから、その対策にしっかり取り組んでいただくとともに、地域への理解を得るためには、工事の必要性や効果などについて広く知ってもらうことが重要です。

そこで、瓜破付近の渋滞対策や、地域への情報発信の取組について都市整備部長にお伺いします。

降壇

(都市整備部長答弁)

○ 瓜破付近の渋滞対策については、阪神高速道路株式会社が、通行止め開始前にレーン表示の改善などを実施。通行止め後は、警察と連携した瓜破(うりわり)交差点等の信号調整や、円滑な車線変更を促すための案内表示の設置とともに、特設サイトで渋滞状況等の情報提供を行っている。更に、12月からは、高速道路へ誘導する案内看板等を追加で設置しているところ。

○ また、地域の方に理解をいただくための取組としては、瓜破交差点の南東角付近に「工事情報館」を設置し、社員が直接、工事の必要性や進捗状況などをお知らせするとともに、今月11日には現地でVRによる工事の体験などのイベントを実施。

○ 引き続き、阪神高速道路株式会社に対し、渋滞対策や地域への丁寧な情報提供を働きかけていく。

新演壇登壇

②

(岩木均議員・質問)

交通渋滞対策の現状と今後の対応などについて説明をいただき、よく分かりました。地元の方々にとっては切実な問題でありますのでどうぞよろしくお願いいたします。

次に、地元の平野区、瓜破交差点は昨年、府下で3番目に交通事故の多い交差点とお聞きしました。

阪神高速松原線の工事により付近の交通の流れが変わり、更に事故が増加するものと懸念しておりましたが、先にお伺いしましたところ、本年の瓜破交差点における事

故は大きく減少し、平野区の事故も減少しているとお聞きし、安堵するとともに、大変うれしく思っています。

渋滞を解消し、道路をスムーズに利用できるようになることは有難いことではあります。安全を確保することについても非常に重要であります。そこで、最後に交通事故が多発する交差点の交通安全対策について警察本部長にお伺いします。

降壇

(警察本部長答弁)

○ 昨年の大阪府下の交差点における交通事故発生件数は12,089件で交通事故全体の47.6%を占め、交差点の交通安全対策を講ずることは交通事故抑止対策を推進する上で重要な取組のひとつとなっております。

○ 具体的な取組としては警察官を配置した交通指導取締りや保護誘導活動、実践的な交通安全教育を実施しているほか、交差点内の標示の更新や信号秒数の調整といった道路交通環境の整備を併せて行っているところであります。

○ 議員お示しの瓜破交差点におきましても阪神高速松原線の一部通行止め工事に伴う渋滞に起因する交通事故を防止するため、本年6月に信号秒数の調整などを行ったところであります。

○ 引き続き、交差点の交通実態に即した適切な交通安全対策を講じ、交通事故抑止に努めてまいります。

旧演壇登壇

(岩木均議員・要望)

今後も2年以上の長期にわたり工事は続くことから、渋滞対策はもとより、できる限り地域に寄り添って丁寧な情報提供をお願いします。また、これまで議会でも取り上げられてきた、高速道路を迂回利用した場合の料金調整の早期実現についても、阪神高速道路株式会社に強く働きかけていただくよう、よろしく申し上げます。

これで私の一般質問を終わります。

ご清聴ありがとうございました。

降壇